



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社 J-オイルミルズ

上場取引所 東

コード番号 2613 URL <http://www.j-oil.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 八馬 史尚

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 渡辺 光祐

TEL 03-5148-7100

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	45,895	2.6	1,903	3.1	2,077	3.7	1,807	1.2
2019年3月期第1四半期	47,121	0.8	1,845	112.4	2,004	87.6	1,829	157.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,188百万円 (50.7%) 2019年3月期第1四半期 2,410百万円 (109.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	109.82	
2019年3月期第1四半期	111.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	151,249	87,345	57.7
2019年3月期	147,688	86,908	58.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 87,275百万円 2019年3月期 86,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		45.00		45.00	90.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		50.00		50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	94,000	0.7	3,300	1.2	3,500	1.8	2,700	7.5	164.06
通期	190,000	1.7	6,500	14.8	6,900	9.1	5,400	13.7	328.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	16,754,223 株	2019年3月期	16,754,223 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	297,117 株	2019年3月期	296,939 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,457,182 株	2019年3月期1Q	16,457,868 株

株主資本において自己株式として計上されている株式給付信託に残存する自社の株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。当該信託が保有する当社株式の期中平均株式数は、前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間174,900株であります。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、搾油原料相場やミール相場が前年同四半期より低位で推移する中、高付加価値品の更なる拡売へ取り組みましたが、減収増益となりました。また、特別損益では、前年度に発生した台風被害を対象とした受取保険金の計上や、当社製品の自主回収に伴う製品回収関連損失を計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高458億95百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益19億3百万円（前年同四半期比3.1%増）、経常利益20億77百万円（前年同四半期比3.7%増）となりましたが、前年同四半期における繰延税金資産の計上影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益18億7百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

セグメントの営業概況は、次のとおりであります。

(油脂事業)

油脂事業環境につきましては、主原料である大豆相場は、期初1ブッシェル当たり9米ドル前後で推移したものの、米中協議に進展が見られなかったことから、一時8米ドル割れまで下落しました。その後、米国産地での洪水により作付面積が減少するとの見通しから、9米ドル台前後での推移となりました。菜種相場は、カナダ産地の降雨不足懸念から上昇する局面も見られましたが、乾燥懸念が和らいだことや、中国とカナダの関係悪化によりカナダ産菜種の輸出需要が減少し、1トン当たり430～460加ドルのレンジでの推移となりました。為替相場は、米国の経済指標の悪化を受けて利下げ観測が高まったことや、中東情勢の緊迫化により、1米ドル106円台後半まで円高ドル安が進行しましたが、米中通商協議の再開が合意されると108円台に戻しました。

油脂部門においては、高付加価値品の販売強化に取り組みましたが売上高は減収となりました。家庭用油脂はキャノーラ油の売上高が微減となる中、オリーブオイルの伸長により前年同四半期と同程度の売上高を確保しました。業務用油脂は「長調得徳[®]」や「J-OILPRO[®]」の販売で、顧客課題である労働環境改善、オペレーション改善、配送コストの低減といった提案を行った事により、高付加価値品の売上高は堅調に推移しましたが、前年同四半期と比べ販売価格が低位で推移したことにより、業務用の売上高は微減となりました。

油糧部門においては、主たる需要先である配混合飼料の国内生産量は前年同四半期と同程度で推移しました。大豆ミールの販売数量は増加しましたが、販売価格はシカゴ相場により安値での推移となりました。菜種ミールの販売数量は微増でしたが、販売価格は大豆ミール価格の低下により安値となりました。この結果、油糧部門の売上高は前年同四半期をわずかに下回りました。

以上の結果、当事業は売上高388億27百万円（前年同四半期比3.0%減）、セグメント利益16億27百万円（前年同四半期比5.3%増）となりました。

(油脂加工品事業)

マーガリン部門においては、家庭用では「ラーマ[®]オリーブ&バター[®]の風味」「ラーマ[®]バター好きのためのマーガリン」のパッケージリニューアルを行うとともに、4月より「ラーマ[®]バター[®]の風味」の増量セールを実施し拡販に努めたことにより、市場が低調な中、売上高は前年同四半期と同程度となりました。業務用では製パン市場が伸び悩む中、ペンシル状のマーガリン製品群は堅調に推移しており、リテールベーカー向けにコンパクト化した「グランマスター[®]プリメランパレット」等の拡販に努めましたが、売上高は前年同四半期をやや下回りました。

粉末油脂部門においては、安定した受託生産を実現し、売上高は順調に推移しました。

以上の結果、当事業は売上高32億38百万円（前年同四半期比1.7%減）原料価格の高騰や委託加工賃の上昇もあり、セグメント損失37百万円（前年同四半期はセグメント利益1億31百万円）となりました。

(食品・ファイン事業)

スターチ部門においては、コーンスターチ製品の需要が減少する中、原料コスト上昇に対応した価格改定に取り組み、前年同四半期並みの売上高を確保しました。

ファイン部門においては、ファインマテリアルは海外向けの販売が好調に推移しました。SOYシートは北米の景気好調に加え、海外現地商社への働きかけによる積極的な販売で新規導入の動きが広がり、売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

ケミカル部門においては、新設住宅着工戸数が前年同四半期と比較してわずかに下回り、主たる需要家である木質建材産業の業績も同様に推移しました。前年度後半に下落した原料価格は底を打ちましたが、物流費・人件費の上昇が続きました。このような状況下において、木質建材用接着剤の価格改定に努めましたが、売上高は前年同四

半期をわずかに下回りました。

以上の結果、当事業は売上高34億57百万円（前年同四半期比1.4%増）、セグメント利益2億46百万円（前年同四半期比52.2%増）となりました。

（その他）

その他の事業につきましては、売上高3億71百万円（前年同四半期比5.7%減）、セグメント利益67百万円（前年同四半期比829.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ35億61百万円増加し1,512億49百万円となりました。主な増加は、現金及び預金が7億35百万円、たな卸資産が33億30百万円、流動資産その他が5億34百万円です。主な減少は、有形固定資産が3億74百万円、投資その他の資産が6億85百万円です。

負債は、前連結会計年度末と比べ31億24百万円増加し639億3百万円となりました。主な増加は、支払手形及び買掛金が39億22百万円、借入金が3億円です。主な減少は、未払消費税等が11億32百万円です。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億37百万円増加し873億45百万円となり、自己資本比率は57.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月13日公表の業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,425	3,160
受取手形及び売掛金	36,953	37,003
商品及び製品	13,156	13,821
原材料及び貯蔵品	15,614	18,279
その他	2,737	3,271
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	70,883	75,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	14,237	15,037
機械装置及び運搬具（純額）	20,716	21,527
土地	19,599	19,599
リース資産（純額）	1,800	1,764
建設仮勘定	2,308	289
その他（純額）	556	625
有形固定資産合計	59,217	58,843
無形固定資産		
投資その他の資産	1,529	1,501
投資有価証券	14,544	13,862
長期貸付金	0	0
退職給付に係る資産	627	646
繰延税金資産	213	217
その他	736	708
貸倒引当金	△125	△122
投資その他の資産合計	15,998	15,312
固定資産合計	76,745	75,657
繰延資産	59	57
資産合計	147,688	151,249

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,654	16,576
短期借入金	2,600	2,900
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払法人税等	392	606
未払消費税等	1,436	304
賞与引当金	1,012	496
役員賞与引当金	34	10
その他	13,524	13,972
流動負債合計	31,854	35,065
固定負債		
社債	12,000	12,000
長期借入金	6,740	6,740
リース債務	1,597	1,563
繰延税金負債	1,968	1,940
役員退職慰労引当金	17	17
役員株式給付引当金	131	148
環境対策引当金	78	78
退職給付に係る負債	3,328	3,355
長期預り敷金保証金	2,344	2,332
その他	717	660
固定負債合計	28,924	28,837
負債合計	60,779	63,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	31,633	31,633
利益剰余金	41,714	42,772
自己株式	△1,081	△1,082
株主資本合計	82,266	83,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,784	4,268
繰延ヘッジ損益	19	△102
為替換算調整勘定	69	77
退職給付に係る調整累計額	△299	△289
その他の包括利益累計額合計	4,574	3,953
非支配株主持分	67	70
純資産合計	86,908	87,345
負債純資産合計	147,688	151,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	47,121	45,895
売上原価	38,602	36,757
売上総利益	8,518	9,137
販売費及び一般管理費	6,672	7,234
営業利益	1,845	1,903
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	107	101
持分法による投資利益	56	72
雑収入	33	32
営業外収益合計	198	207
営業外費用		
支払利息	30	21
支払手数料	6	5
雑支出	4	5
営業外費用合計	40	32
経常利益	2,004	2,077
特別利益		
固定資産売却益	0	—
受取保険金	—	640
特別利益合計	0	640
特別損失		
固定資産除却損	37	17
工場再編費用	28	—
リース解約損	0	—
製品回収関連損失	—	120
特別損失合計	66	138
税金等調整前四半期純利益	1,938	2,579
法人税、住民税及び事業税	339	520
法人税等調整額	△233	249
法人税等合計	106	770
四半期純利益	1,831	1,809
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,829	1,807

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,831	1,809
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	363	△518
繰延ヘッジ損益	205	△122
為替換算調整勘定	△2	0
退職給付に係る調整額	22	9
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	9
その他の包括利益合計	579	△621
四半期包括利益	2,410	1,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,410	1,185
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
	油脂事業	油脂加工品 事業	食品・ファ イン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	40,021	3,294	3,410	46,726	394	47,121	—	47,121
セグメント間の内部 売上高又は振替高	407	101	22	531	—	531	△531	—
計	40,428	3,396	3,433	47,258	394	47,652	△531	47,121
セグメント利益	1,545	131	162	1,838	7	1,845	—	1,845

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
	油脂事業	油脂加工品 事業	食品・ファ イン事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	38,827	3,238	3,457	45,523	371	45,895	—	45,895
セグメント間の内部 売上高又は振替高	372	102	24	499	—	499	△499	—
計	39,199	3,341	3,481	46,022	371	46,394	△499	45,895
セグメント利益又は 損失(△)	1,627	△37	246	1,836	67	1,903	—	1,903

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸等の各種サービス等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。